



テーマ  
「遠野の未来を創造してみよう」  
～私の夢と希望～

子どもたちの意見・提言の一部を紹介します



遠野は子育て支援に力を入れていますが、高齢者が住みやすいまちづくりにも力を入れていきたいと思います。高校魅力化もサッカーなど特定の分野だけでなく、他の分野でも魅力を作り、さまざまな人が集まることで地域の活性化につながればいいと思います。活性化に貢献できるように色々な経験を積んで、遠野に還元できるよう頑張りたいです。

今の遠野を残していくために、受け継がれてきた文化や伝統を産まれてくる子どもたちに伝えていくことを考えました。また、このような会があったら積極的に参加したいです。参加することで未来の遠野について、さまざまな年代の人と意見を交換し合えると思います。将来の夢は決まっていますが、遠野の人や環境に関わる仕事がしたいです。

未来の遠野市が市民の愛で溢れ、平和で活気ある街になれば良いと考えています。そのために、一市民として意見を出し合い、もっと意見を発信するべきだと思いました。わらすっこ支援委員として活動し、遠野市の子育て支援施策が予想以上に多いことも知りました。市全体が子育てを応援、サポートしていることを発信したいと考えています。

祖父母が東日本大震災の津波で家をなくしました。しかし、遠野の後方支援でたくさんの支援を受けることができました。私は将来、医師になりたいです。それは、遠野に産婦人科の医療機関が無いからです。小児科も土日診療しているわけではなく、内科や皮膚科の病院に行っています。医師になって、本当に安心して子育てできる遠野にしたいです。

遠野市にある公園を皆さんにもっと幅広く知ってもらいたいです。調べてみると、市内に公園は37か所あります。そこで、公園を“増やす”のではなく“再利用”してもらいたいです。アスレチックや体幹を鍛えられる遊具があれば、もっと公園で遊ぶ子どもが増えると思いました。電灯が少ない所もあるので、安心して使える公園があればいいと思います。

遠野で働くなら、野球用品を取り扱う店に就職したいです。用具を買いに北上などへ行くからです。近くにあれば気軽に行けます。車を運転する必要もないので地球温暖化も防げます。一石二鳥です。遠野は中学校の野球部が県で優勝するなど、すごく盛んです。店では誰よりも優しい声で対応して、人気度を上げれば、たくさん人が来てお金も稼げます。



当日は、わらすっこ議員から提出された「わらすっこの夢と希望のために遠野市全体で応援するまちづくり宣言」の発議案が全会一致で採択されました。

# 初開催！ わらすっこの議会

「わらすっこの議会」が本市で初めて開かれました。市に意見提言したのは、市内の小・中・高校生。14人のわらすっこ議員による議会の様子を紹介します。

これから、令和元年度わらすっこ議会を開会します！  
同議会は2月22日、市役所本会議場で初めて開かれ、14人のわらすっこ議員が参加。市に自分の考えを伝えました。  
わらすっこ議員は、市内の小学生9人と中学生3人、高校生2人で構成。市わらすっこ条例制定10周年を迎えた昨年、わらすっこ支援委員として市の子ども・子育て支援を学習してきました。今回は、「遠野の未来を創造しよう」私の夢と希望

をテーマに意見をまとめ、遠野の将来像や子育て環境の充実に向けた意見、自分の夢などを堂々と発表しました。  
議会には、本田市長や菊池教育長、市議会議員らが出席。傍聴席では、保護者や関係者らがわらすっこ議員を見守っていました。  
本田市長は、「皆さんが夢・希望・理想に向かって計画を持ちながら挑戦し、成長することを応援します」と総括。未来を担う子どもたちにエールを送りました。

## Interview インタビュー



わらすっこ議員の発言には学ぶことがたくさん。遠野を担う頼もしい存在です。改めて、市民に身近な市議会を目指していきます。



すごく緊張しました。小中学生も堂々と発表していて、私たちも大人になったら子どもたちを支えていかなければと感じました。



1\_ わらすっこ議会に参加したみなさん 2\_ 会場となった本会議場は緊張感が漂いました 3\_ 議長の名指に大きな返事で手を挙げ、意見を発表しました

